



※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年12月期 3 Q	11,155,979株	2022年12月期	11,155,979株
② 期末自己株式数	2023年12月期 3 Q	52,917株	2022年12月期	55,427株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年12月期 3 Q	11,101,509株	2022年12月期 3 Q	11,098,802株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（四半期決算補足説明資料の入手方法）

四半期決算補足説明資料に関しては、決算発表後速やかに当社ウェブサイトに掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7
(追加情報) .....	7
(セグメント情報等) .....	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、個人消費やインバウンド需要の回復等により、経済活動は緩やかに回復しました。また、企業の設備投資や生産活動は、資源や原材料価格の高止まりの影響を受けながらも堅調に推移しました。

世界経済につきましては、米国は雇用回復を背景に個人消費が底堅く推移する一方、生産活動は低調に推移しました。中国はゼロコロナ政策解除後の経済回復に遅れが出ており、生産活動は低調に推移しました。また、ウクライナ情勢の長期化、資源や原材料価格の高止まりに加え、各国の金融引き締め等に伴う景気後退懸念により、先行き不透明な状況が続きました。

当社グループの属しておりますエレクトロニクス業界につきましては、一部では在庫調整による需要の減少が見られるものの、5GやEV、AI、IoT分野に関連する設備投資の需要は好調を維持しており、それらに関連する電子部品や製造設備の生産活動は堅調に推移しました。

このような状況下、当社グループは、「第10次中期経営計画（2021年～2023年）」の基本方針に基づき、オリジナル製品の拡販、海外事業の拡大、新たな収益基盤となる新規ビジネスの創出に取組みました。

この結果、当社グループの当第3四半期連結累計期間の売上高は68,259百万円（前年同期比6.4%増）、営業利益は4,731百万円（前年同期比0.1%増）、経常利益は4,823百万円（前年同期比1.4%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は3,216百万円（前年同期比2.6%減）となりました。

セグメントごとの概況は以下のとおりであります。

#### 国内販売事業

当セグメントにつきましては、電子機器及び部品では、半導体製造設備向けに「半導体」のアナログIC、「エンベデッドシステム」の産業用PCの販売が増加しました。製造装置では、半導体材料の生産向けに「半導体・フラットパネルディスプレイ製造装置」の販売が減少しましたが、通信用デバイス向けに「電子部品製造装置」、パワーデバイスの生産向け装置の販売が増加しました。これらの要因により、売上、利益共に前年同期の実績を上回りました。

この結果、当セグメントの売上高は52,318百万円（前年同期比14.9%増）となり、セグメント利益（営業利益）は3,707百万円（前年同期比40.2%増）となりました。

#### 国内製造事業

当セグメントにつきましては、電子機器及び部品を手掛ける部品事業部門では、特殊コネクタやハーネスの販売が増加しました。製造装置を手掛ける装置事業部門では、通信用デバイス向け加工機の販売が増加しました。これらの要因により、売上は前年同期の実績を上回りましたが、人件費や諸経費の増加により、利益は前年同期の実績を下回りました。

この結果、セグメント間の内部売上高を含めた当セグメントの総売上高は8,294百万円（前年同期比6.1%増）となりました。外部顧客への売上高は2,768百万円（前年同期比12.5%増）となり、セグメント利益（営業利益）は554百万円（前年同期比27.4%減）となりました。

#### 海外事業

当セグメントにつきましては、電子機器及び部品では、北米及び東南アジア市場で「電子部品&アセンブリ商品」、北米及び中国市場で「画像関連機器・部品」の販売が増加しましたが、中国及び韓国市場で「半導体」の販売が減少しました。製造装置では、中国市場で「半導体・フラットパネルディスプレイ製造装置」、「電子部品製造装置」の販売が減少しました。これらの要因により、売上、利益共に前年同期の実績を下回りました。

この結果、当セグメントの売上高は13,172百万円（前年同期比18.6%減）となり、セグメント利益（営業利益）は539百万円（前年同期比60.6%減）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## (資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は60,282百万円となり、前連結会計年度末に比べ4,119百万円の増加となりました。これは主に現金及び預金が3,846百万円減少したものの、受取手形、売掛金及び契約資産が4,281百万円、商品及び製品が1,180百万円、流動資産その他に含まれる前渡金が2,223百万円増加したことによるものであります。固定資産は7,647百万円となり、前連結会計年度末に比べ608百万円の増加となりました。これは主に投資その他の資産が439百万円増加したことによるものであります。

この結果、総資産は67,930百万円となり、前連結会計年度末に比べ4,727百万円の増加となりました。

## (負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は35,621百万円となり、前連結会計年度末に比べ2,083百万円の増加となりました。これは主に電子記録債務が1,960百万円減少したものの、支払手形及び買掛金が1,353百万円、契約負債が2,691百万円増加したことによるものであります。固定負債は3,896百万円となり、前連結会計年度末に比べ244百万円の増加となりました。

この結果、負債合計は39,518百万円となり、前連結会計年度末に比べ2,328百万円の増加となりました。

## (純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は28,412百万円となり、前連結会計年度末に比べ2,399百万円の増加となりました。これは主に剰余金の配当により1,332百万円減少したものの、親会社株主に帰属する四半期純利益により3,216百万円増加したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は41.8%となり、前連結会計年度末との比較で0.7ポイントの上昇となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2023年5月10日に公表いたしました「2023年12月期 第1四半期決算短信」に記載の内容から変更はありません。なお、業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき当社が判断したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。今後、業績予想に関して修正の可能性が生じた場合には、速やかに開示する予定であります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	12,902,996	9,056,815
受取手形、売掛金及び契約資産	15,155,220	19,436,655
電子記録債権	10,633,948	10,152,372
商品及び製品	8,840,899	10,021,737
仕掛品	3,211,068	3,885,380
原材料	650,686	802,863
その他	4,769,757	6,928,613
貸倒引当金	△1,082	△1,840
流動資産合計	56,163,493	60,282,599
固定資産		
有形固定資産	4,400,487	4,504,051
無形固定資産	199,666	265,464
投資その他の資産		
その他	2,448,326	2,888,790
貸倒引当金	△9,492	△10,685
投資その他の資産合計	2,438,834	2,878,105
固定資産合計	7,038,988	7,647,620
資産合計	63,202,481	67,930,220
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	9,348,311	10,702,122
電子記録債務	13,785,670	11,824,864
短期借入金	530,343	623,435
未払法人税等	1,269,543	971,780
賞与引当金	131,420	749,697
その他の引当金	46,605	77,969
契約負債	6,629,682	9,320,782
その他	1,796,547	1,351,234
流動負債合計	33,538,124	35,621,886
固定負債		
退職給付に係る負債	3,557,298	3,714,779
資産除去債務	50,857	51,481
その他	43,669	130,029
固定負債合計	3,651,825	3,896,290
負債合計	37,189,950	39,518,177
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	2,200,708	2,200,708
資本剰余金	2,570,380	2,575,877
利益剰余金	20,436,676	22,320,616
自己株式	△41,865	△39,781
株主資本合計	25,165,900	27,057,420
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	675,899	850,649
繰延ヘッジ損益	△9	—
為替換算調整勘定	344,544	637,726
退職給付に係る調整累計額	△180,021	△156,726
その他の包括利益累計額合計	840,412	1,331,649
非支配株主持分	6,218	22,973
純資産合計	26,012,531	28,412,043
負債純資産合計	63,202,481	67,930,220

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年9月30日)
売上高	64,168,937	68,259,523
売上原価	51,401,847	54,670,639
売上総利益	12,767,089	13,588,884
販売費及び一般管理費	8,038,918	8,857,407
営業利益	4,728,171	4,731,476
営業外収益		
受取利息	2,229	3,609
受取配当金	26,438	28,666
補助金収入	10,290	25,971
為替差益	112,356	16,976
雑収入	26,192	48,399
営業外収益合計	177,506	123,623
営業外費用		
支払利息	6,964	26,806
手形売却損	438	612
雑損失	3,744	4,095
営業外費用合計	11,147	31,514
経常利益	4,894,530	4,823,584
特別利益		
固定資産売却益	346	1,650
投資有価証券売却益	—	7,913
特別利益合計	346	9,564
特別損失		
固定資産除売却損	167	520
投資有価証券評価損	1,559	—
特別損失合計	1,727	520
税金等調整前四半期純利益	4,893,149	4,832,628
法人税、住民税及び事業税	1,841,139	1,889,762
法人税等調整額	△251,870	△289,223
法人税等合計	1,589,269	1,600,538
四半期純利益	3,303,880	3,232,089
非支配株主に帰属する四半期純利益	2,342	15,956
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,301,538	3,216,133

(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年9月30日)
四半期純利益	3,303,880	3,232,089
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△166,371	174,750
繰延ヘッジ損益	489	9
為替換算調整勘定	513,672	293,181
退職給付に係る調整額	31,793	23,294
その他の包括利益合計	379,585	491,236
四半期包括利益	3,683,465	3,723,326
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,682,278	3,706,570
非支配株主に係る四半期包括利益	1,187	16,755

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染拡大に伴う会計上の見積り)

前連結会計年度の有価証券報告書の(追加情報)に記載した新型コロナウイルス感染拡大の影響に関する仮定について重要な変更はありません。

(セグメント情報等)

セグメント情報

I 前第3四半期連結累計期間(自 2022年1月1日 至 2022年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	国内販売事業	国内製造事業	海外事業	計		
売上高						
電子機器及び部品	38,426,996	2,443,515	6,024,972	46,895,484	—	46,895,484
製造装置	7,105,055	16,358	10,152,038	17,273,452	—	17,273,452
顧客との契約から生 じる収益	45,532,052	2,459,873	16,177,010	64,168,937	—	64,168,937
その他の収益	—	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	45,532,052	2,459,873	16,177,010	64,168,937	—	64,168,937
セグメント間の内部 売上高又は振替高	2,278,414	5,360,014	397,304	8,035,733	△8,035,733	—
計	47,810,467	7,819,888	16,574,315	72,204,670	△8,035,733	64,168,937
セグメント利益	2,644,480	763,507	1,370,397	4,778,386	△50,214	4,728,171

(注) 1. セグメント利益の調整額△50,214千円には、セグメント間取引消去△6,261千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△43,953千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2023年1月1日 至 2023年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	国内販売事業	国内製造事業	海外事業	計		
売上高						
電子機器及び部品	44,180,898	2,740,461	6,092,965	53,014,325	—	53,014,325
製造装置	8,137,115	28,053	7,080,029	15,245,197	—	15,245,197
顧客との契約から生 じる収益	52,318,014	2,768,514	13,172,994	68,259,523	—	68,259,523
その他の収益	—	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	52,318,014	2,768,514	13,172,994	68,259,523	—	68,259,523
セグメント間の内部 売上高又は振替高	2,004,170	5,525,564	192,520	7,722,255	△7,722,255	—
計	54,322,184	8,294,079	13,365,515	75,981,779	△7,722,255	68,259,523
セグメント利益	3,707,797	554,530	539,330	4,801,658	△70,182	4,731,476

(注) 1. セグメント利益の調整額△70,182千円には、セグメント間取引消去△1,307千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△68,875千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。